



## 異年齢集団で楽しむ英語活動 ～全校Eタイム～

今年度は感染症対策のため、体育館に全校児童が集まっている全校Eタイムを避け、相和っ子班ごとに各教室で行っています。この日は、英語表現を用いるゲームを楽しみました。6年生が、ゲームの説明をしました。前に出て指示する役が“Touch your head.”と言ったら、みんなが自分の頭にふれなければいけません。しかし、“Touch head.”と言ったら、動いてはいけないというルールです。

説明が終わると、引き続きそのままゲームを始めました。子どもたちは、“your”が発音されているかどうか、注意深く聞いて、反応していました。“nose”（鼻）を「ノー」（脳）と聞き取り、頭に手をやる一場面もあり、和やかな雰囲気の中でゲームを楽しみました。

指示を出す役を交代しようとしたとき、「ぼくがやりたあい！」と元気よく、1年生が前に出てきました。そして、体の部分の英語表現を6年生に教えてもらいながら、

“Touch your toe.”とみんなを下向きにさせ、“Touch head.”を何回か繰り返しました。少々苦しい姿勢であったので、“head”という発音につられそうな高学年がいて、思わず「うまいね！」と口に出てしまっていました。

このように、異年齢集団での活動は、高学年がリードしてくれます。分からないことをみんなに教えてくれます。しかし、これは、上の学年から下の学年への一方向では

ありません。「ぼくが、やりたあい！」と前に出て指示役を行う低学年のエネルギーで、怖じ気つかずに自由な行動は、周囲の人たちに何らかの影響を与えるであろうと思います。人と人との関わりは、一方向ではあり得ません。相互作用であると思います。



## 友達と関わりながら体を動かす楽しさを共に味わう子どもたち ～体育委員会の取組～

これまで体育委員会は、全校で楽しく体を動かして遊べるよう「外遊びプロジェクト」を計画してきました。しかし、感染症対策により、全校で遊ぶことが難しくなったため、「外遊びプロジェクト」にかわり、「相和ギネス」を企画しました。

これは、2月3～5日の3日間の昼休みに、低・中・高学年に分かれて行いました。種目は、「くつとばし」と「ソフトボール投げ」の2種目で、一人2回ずつチャレンジすることができます。

競技をしている子どもたちは、2回のチャレンジでは物足りない様子でした。よい記録をだす友達が競技している様子を見て、もっとやりたくなったようです。運営する体育委員会にとっては久しぶりの活動であり、生き生きと活動していました。また、その運営を手伝う4年生以上の子どもたちも進んで活動していました。全校のみんなが楽しく取り組む様子にふれ、それを運営する楽しさを感じているようでした。

学年ごとの最高記録は、昇降口の掲示板に張り出されました。全校として、「くつとばし」の最高記録は24m、「ソフトボール投げ」は51mでした。



## 音楽の楽しさを共に味わう子どもたち ~音楽・ダンスクラブの発表~

例年、音楽クラブは、1年間の活動の成果を昼休みの時間に全校へ披露していました。今年度は、「音楽・ダンスクラブ」と名前をかえて活動してきました。長期にわたる臨時休校などがあり、例年より活動する時間が少なかった上、感染症対策により合唱やリコーダー、鍵盤ハーモニカなどの楽器演奏は行ってきませんでした。そうした中でも、担当の先生たちも加えて音楽の楽しさを求め活動してきました。そして、音楽・ダンスクラブの発表会が行われました。

2月19日（金）、中休みには1・3・5年生を、昼休みには2・4・6年生を招待しました。合奏で使用した楽器は、ピアノ、ドラム、木琴、鉄琴、キーボード、バスキーで、曲名は「恋／星野源」「宿命／official 髭男dism」「I Love...／official 髭男dism」の3曲です。このうち「恋／星野源」は、合奏に合わせてダンスも披露しました。発表が終わったことを参観者に伝えると、拍手とともにアンコールの声があがりました。そこで、「恋／星野源」を再び演奏し、今度は、みんなでダンスをおどることにしました。

発表した子どもたちは、なかまと音楽を創り上げた充実感を味わい、見ていた子どもたちは、音楽の楽しさとともに、発表者のこれまでの努力に思いをよせていました。



## 生活を見直そう！～リモート児童集会（健康委員会）～

2月9日（火）には、健康委員会による児童集会がありました。緊急事態宣言の期間が延長されたこともあり、体育館に全校が集まることを避け、リモート集会としました。健康委員会が3階の家庭科室から発信し、各学年は自教室で集会に参加しました。

集会では、健康委員会から、以前に行ったアンケートの結果について報告がありました。内容は、「睡眠時間」「歯磨きの回数」「食事の回数」「ゲームの利用時間」等です。

「歯磨きの回数」と「食事の回数」については、良い結果となり、「このまま続けてください」とのメッセージが送られました。

しかし、「睡眠時間」については、相和っ子の約半分が睡眠不足の状態であると報告され、睡眠不足による健康への影響について、保健室前の掲示物を参照してほしいと投げかけられました。小学生に必要な睡眠時間は9～11時間であるとのことでした。

また、「ゲームの利用時間」についても、アンケート結果と健康への影響などが掲示されていることを紹介しました。その掲示物には、「ゲームのやりすぎ、どうなるの!？」という題名で、「ゲームの利用する時間は自分で決めて、めやすとしては1時間です!」という健康委員会からのメッセージが書かれています。

健康委員会からの報告が終わると、画面では、それぞれの教室の様子が映り、各教室から、集会の感想を発表してもらいました。

この集会後、「いつも、〇時間ぐらいゲームしてるよ。」という友達にたいして、「1日1時間って、健康委員会が言ってたよ。」と言葉をかける様子が見られました。

